

# 中継輸送実証実験モデル事業のまとめ イメージ

【 平成27年度 】

【 平成28年度 】

【 平成29年度以降 】

## 第1弾 中継輸送実施に向けた課題

- 【実験の条件】**
- 中継の3方式を網羅
  - 長距離中継の枠組み(輸送ネットワーク)検証

- 【5つの実証実験】**
- ドライバー交替
    - ① 福岡⇔埼玉
  - 貨物積替え
    - ② 福島⇔東京
  - トレーラー・トラクター
    - ③ 川崎⇔兵庫(日用品)
    - ④ 神奈川⇔大阪(飲料)
    - ⑤ 北海道内

- 【課題(抜粋)】**
- ・ 出会いの場の創出が必要
  - ・ 牽引役が必要(コーディネート)
  - ・ 事前に綿密かつ十分な打合が必要

## 第2弾 普及・実用化に向けた課題

- 【実験の条件】**
- 地方を発着地組込み
  - 組合がキッカケとなるトラック事業者間の出会いを検証

- 【5つの実証実験】**
- ドライバー交替
    - ① 群馬⇔山形 ※
    - ② 川崎⇔大阪
    - ③ 横浜⇔愛知
  - 貨物積替え
    - ④ 埼玉⇔山形 ※
    - ⑤ 埼玉⇔三重
- ※は地方組み込み

- 【課題(抜粋)】**
- ・ 国の支援
  - ・ 荷主の協力
  - ・ コスト増の抑制
- 【3つの悩み解消】**
- ・ 遵法性
  - ・ 協定項目
  - ・ 有事の対応

検討プロセスも含め  
実証実験を通じて見えた課題

今後の普及・実用化を目的に  
『実施手順書』としてポイントを整理

## [事業者主導] 中継輸送の普及・実用化

- 中継輸送の枠組みに  
共配や輸送ネットワーク最適化等  
他の物流効率化施策を  
盛り込んだ改革も支援
- 『中継輸送+α』
- [29年度予定の補助事業例]**
- 計画策定経費補助  
総合効率化計画策定事業
  - 設備導入経費補助  
物流分野におけるCO2削減対策  
促進事業(環境省連携)のうち  
共同輸配送促進事業  
※ 複数荷主の貨物が必要

問合わせ 対応支援

中継輸送を検討する  
トラック事業者

問合わせ 対応支援

『中継輸送実施手順書』を  
国交省HPに公開

補助事業で拡大支援

手順書公開で拡大支援